

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	39	—	事業名	成人式事業	担当部課	くらし文化部生涯学習課
------	----	---	-----	-------	------	-------------

基本情報	総合計画	基本方針	4	文化をみがき、人が輝くまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	3	輝きを持った青少年の育成を支える	款	9	教育費
		施策の進め方	2	青少年健全育成体制の充実	項	4	社会教育費
	まちづくり 行程表	フラッグ	—		目	1	社会教育総務費
		政策分類	—		大事業	4	成人式事業
	その他(関係法令、要綱等)		—				
事業開始の背景、経緯等		昭和57年度以前～					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 新成人を主体とした実行委員会が、式典などの準備から運営までを企画し、成人の日に文化の家森のホールで成人式の式典を挙行する。式典後に、成人式の参加者を対象として茶話会(アトラクション)を開催する。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内在住の新成人					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 大人になったことを自覚し、主体的に企画・運営を行う。					
	事業を構成する事務事業	① 成人式事業	改善・見直し	④			
	②			⑤			
	③			⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	事業費(A)	千円	決算	予算		1,251	1,258	1,264
決算					1,089	841	673	
人件費(B)	千円	決算		1,452	1,222	2,980		
総コスト(A)+(B)	千円	決算		2,541	2,063	3,653		

成果推移	成果指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	A 成人式参加率	%	目標	70	70	70	70	70
			実績	69.5	66.1	66.1	61.3	
	B 成人式参加者の満足度	%	目標	—	—	—	—	70
			実績	—	—	—	—	
C		目標						
		実績						

【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)

A 成人式参加率70%を目指す。

B アンケートの満足度70%を目指す。

C

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 尾張旭市他、愛知県内27の市町村で実行委員会形式で実施。 瀬戸市では、小学校単位に分かれて開催し、地元住民が運営している。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 成人式参加率は平成27・28年度は66%、29年度は61%に減少している。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) ・実行委員の立候補者が少ない。 ・同伴家族の席数の確保が困難である。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 引き続き、新成人による手作りの成人式を開催する。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 地域の人や家族が新成人を祝い励ます成人式にする。

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		成人式事業										
番号	①	事務事業名	成人式事業		款	9	項	4	目	1	大事業	4	中事業	1
事務事業の期間	事務事業開始年度		昭和57年度以前			終了（予定）年度	—							

## 1. 事務事業の目的

(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)	
対象・手段	市内在住・在学・在勤の新成人に対し、新成人による実行委員会の企画・運営により、成人の日に文化の家森のホールで成人式の式典を開催。式典後に、成人式の参加者を対象として茶話会（アトラクション）を行う。
(対象をどのような状態にしたいか)	
意図	大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます。新成人が主体的に企画・運営を行い、成人式の参加を呼びかけることで参加率を向上させる。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算		1,251	1,258	1,264	1,247
		決算		1,089	840	673	
<事業費の主な内訳（当該事業年度）>							
① 消耗品費						310	千円
② 会場設営委託						200	千円
③ 食糧費						82	千円

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
成人式実行委員の開催数	回	目標	3	3	3	3	3
		実績	3	3	3	3	3
式典参加者数	人	目標	433	431	459	467	459
		実績	430	408	434	410	
<備考：活動の概要（当該事業年度）>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>当日の流れの把握や役割分担を実施した。</li> <li>茶話会等アトラクションの企画の決定と作業を行った。</li> <li>前年度の実行委員へ参加を呼びかけ、改善すべき点のアドバイスを受けた。</li> </ul>							

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

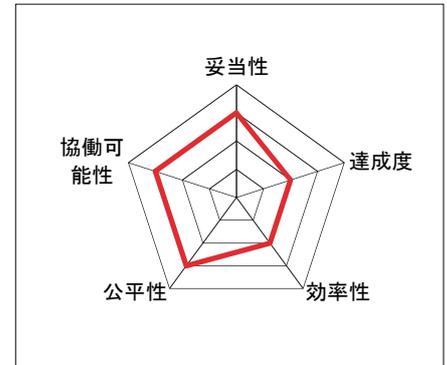
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
実行委員会がSNSを利用し、準備や当日のボランティア参加の呼びかけを行ったが、効果はあまり感じられなかった。

## 5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
今後、新成人の参加対象人数が増えた場合は、家族の観覧席をなくし、それでも席数が不足する場合は会場や日時を分けるなど、実行委員と話し合いながら決定していく。
(何をどのような状態に改善したのか)
実行委員と話し合った結果、会場内の座席は、新成人優先とし、新成人を先に入場させた。新成人は1階席に全員座ることができたため、残席となった2階席に家族を誘導した。

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働可能性	3



### 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)  
 実行委員主体のアトラクションとして実行委員手作りのパネル前で撮影する『クラス写真撮影』、他市にはない『新成人から新成人へのインタビュー』等参加する新成人や実行委員にとって思い出に残る式になった。

### 【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)  
 第1回実行委員会が9月に開催されたため、パネル等の作成の時間が足りないとの意見があったため、時期を早める必要がある。

## 7. 今後の方向性

**改善・見直し**

### 【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

- パネル作成等に時間がかかるため、第1回実行委員会の時期を早め、早い時期から自主的な活動ができるよう促す。
- 実行委員と話し合いながら、会場内の家族の観覧席をなくし、別会場を家族用とする。